シンポジュウム

市民による個性あるまちづくり

ー 市民と行政と学界の協働 ー

主催 / 四日市市・日本都市計画学会中部支部

21 世紀のまちづくりは建設の時代から管理の時代になるといわれます。地域の自然や整備された公共施設を使いこなし、市民の充実した暮らしを実現することが期待されています。四日市市内では、安全安心なまちづくり、自然に親しむための里山管理、地域のふれあいを高める活動など、多くの市民が参加する主体的な取り組みが展開されています。

このような市民のまちづくりがより活発に行われるためには、市民と行政と学界がどのような役割を果たし、またどのような協働関係をつくるべきでしょうか。自主的で、個性あるまちづくりを実践されている市民活動団体の活動を紹介しながら、一緒に考えます。

日　時：平成 19 年 1 月 13 日(土)
午後２時～５時
場　所：四日市市総合会館
８階　視聴覚室
（四日市市諏訪町２番２号）

パネル展示：視聴覚室前のロビー
四日市市内の市民活動団体の
取組みをパネルで紹介します。

入場無料

プログラム

■あいさつ　井上哲夫（四日市市長）
■基調講演　北原理雄（千葉大学教授）
■活動報告　西村伸次（[特] 別山安全なまちづくり推進委員会）
豊村正和（四郷栗の木林をつくる会）
羽木正徳（県地区まちづくり委員会）
今井文子（北河原田町女性会）
■意見交換　市民（活動報告者）、行政（伊藤雅一・津市、山口伴尚・名張市、藤井信雄・四日市市）、学界（北原理雄、瀬口哲夫・名古屋市立大学）
コーディネータ（浦山益郎・三重大学）

都市計画 CPD　本シンポジュウムは、都市計画学会の CPD プログラムに認定されています。（CPD 単位：３）　都市計画 CPD